

平成30年度 アンケート集計結果の考察

江原北幼・小学校

1 保護者用アンケートより

(1) 幼稚園

昨年度より園児数が減少し、本年度は4名（年少1名、年中1名、年長2名）であった。アンケート結果を見ると、10項目中9項目については、肯定的な回答であった。否定的な回答があったのは、「10. 園の施設や設備は子供が生活しやすい環境になっている」の質問に「あまりそう思わない」の1名であった。

園児の成長にとって、生活しやすい環境は不可欠なものであり、保育環境の充実に努めていきたい。また、幼稚園における生活習慣の指導はもちろんのこと、家庭生活での習慣取得に向け、更に保護者との連携を図っていく必要がある。家庭で園のことを話せるようよりいっそう楽しい園経営を心がけたい。

幼稚園での指導面については、「そう思う」との回答が多く、今後も引き続き指導の充実に努めていきたい。

◎ 保護者からのご意見や感想等

○ 緊張や不安、慣れない環境に不安になり泣いてしまうのが心配です。

(2) 小学校

今回のアンケートの集計結果において、「1. 学校生活（楽しく登校）」の質問に否定的な回答は「あまりそう思わない」（1名）、「そう思わない」（1名）であった。残りの94%が肯定的な意見であるが、否定的な回答があったことを真摯に受け止め、更に児童理解を深め、楽しい学校づくりに努力したい。

また、肯定的な意見が90%以下となったのが、「2. 気持ちのよいあいさつ（86%）」、「4. 早寝早起き、朝食（75%）」、「5. 学校での様子を話す（89%）」であった。学校においても「早寝早起き・あいさつ」の習慣化を図る取組を推進していくが、これらのことについては学校のみならず家庭での取組も重要となる。家庭との連携を密にして、「早寝早起き・あいさつ」の習慣化を図っていきたい。

また、児童に対する教職員の指導については「6. 基本的な生活習慣・学力（100%）」、「7. 子供理解（97%）」、「体力づくり・体力の向上（97%）」と多くの方に肯定的な回答が得られた、特に「6. 基本的な生活習慣・学力」は、児童のアンケート結果でも「14. 先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる」の肯定的回答は97%であった。しかし、目の前の子どもたちを見るとまだまだ取り組まねばならないとの思いがある。今後も家庭と連携し、学校運営の充実に努めていきたい。

◎ 保護者からのご意見や感想等

- 少しずつ、自分で勉強しようという意欲が出てきたように思います。
- 毎日、楽しく学校に行っています。ありがとうございます。
- 毎日、学校へ行くのを楽しみにしています。PTA活動に積極的に協力していただきありがとうございます。保護者も楽しませていただいています。
- 子供たちに貴重な体験をさせてもらい、また、先生や保護者の方、地域の方たちもすごく協力的で幼稚園から江北に入学して本当に良かったと思っています。6年生が卒業するとぐんと人数が減ってしまいますが、変わらずにいてほしいと思います。
- 新年度から単式から複式学級になると聞きました。規定もあるので仕方ないのかもしれませんが、少人数でも単式学級の方がいいです。授業内容などを考慮してもらいたいです。
- いつも子供たちを見守り、保護者への気配りもしていただき感謝しております。先生方も新しい先生も多く大変だとは思いますが、連携や情報共有という面でも気にかけていただければありがたいです。

2 児童用アンケートより

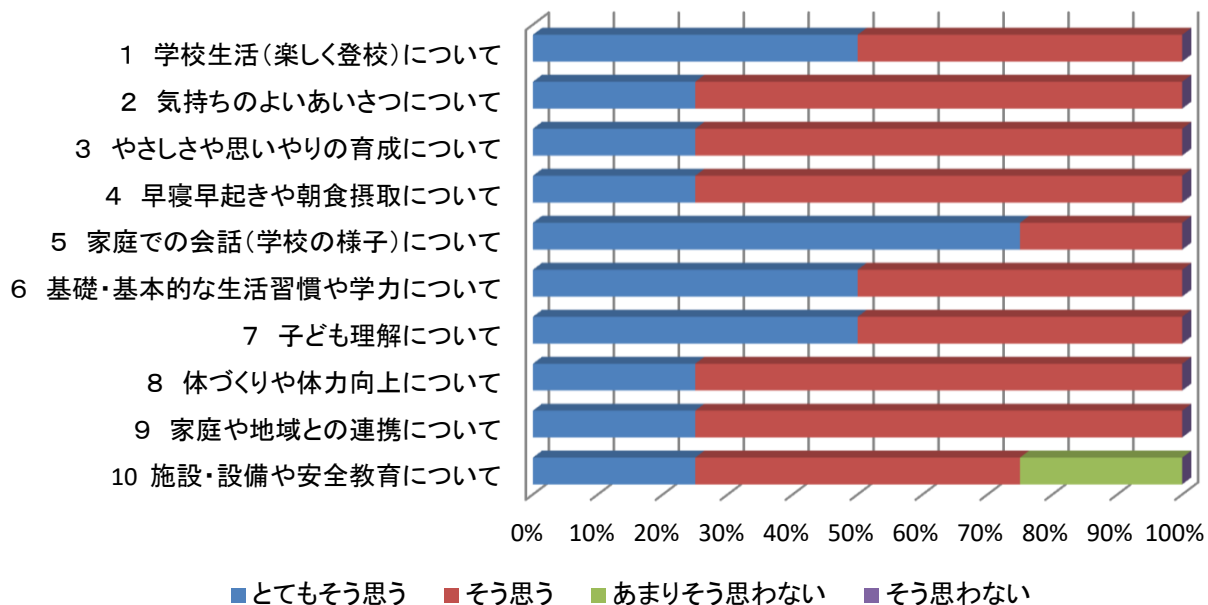
- ・ 83%の児童が学校が楽しいと回答しているが、「そう思わない」(1名)、「あまりそう思わない」(5名)いる。すべての児童が学校が楽しいと回答できるよう、絶えず生活チェックシート等を活用し、いじめ問題も含め全教職員の共通理解のもとで取り組んでいきたい。
- ・ 毎年「気持ちのよいあいさつ」の励行について指導してきている。また、児童会もあいさつ運動を行うなど自主的な取り組みも進めてきているが、否定的な回答が28%あった。一朝一夕に効果は表れないものではあるが、社会生活の基本であるあいさつについて、今後とも指導を続けていきたい。
- ・ 「自分での起床」や「就寝時間」について、39%が否定的な回答であった。学校の指導はもちろん、家庭との連携をより進めていきたい。
- ・ 「自主的発表」や「読書」について肯定的に回答した児童が少なく、継続的な啓発、指導が必要である。
- ・ 学校や教師に対しての問いに対しては、ほぼ満足している児童が多い。今後も、「よくわかる授業」をめざし、きめ細やかな指導の充実を図っていきたい。

3. 学校評議員による評価より

- 虐待やいじめの問題が最近頻繁に報道されているが、一人一人の命を大切にする教育に取り組んでほしい。
- 先生方の指導が十分に行き届いていて、子供たち一人一人の成長が感じられた。
- 児童数減少は止められないが、これまでと同様に小規模校の良さを生かした教育を推進してほしい。
- 数年後には、学校の存続、統合についても検討しなければならない可能性がある。

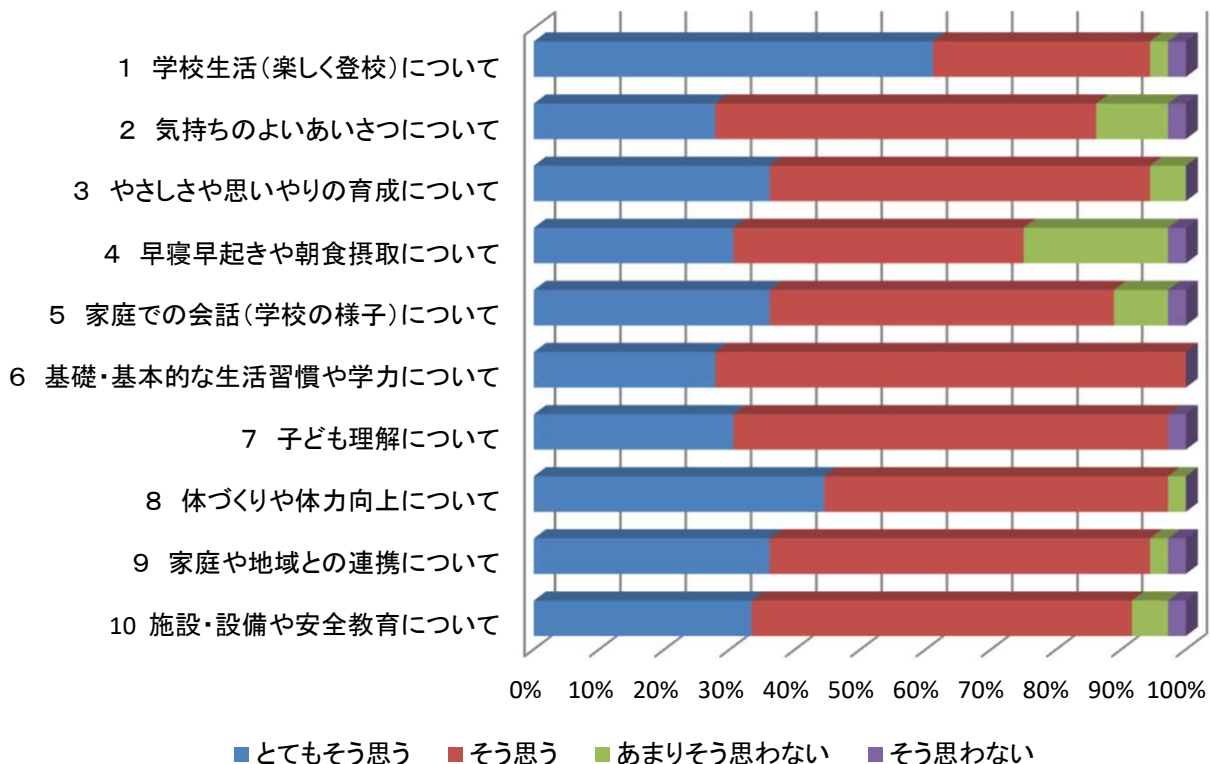
平成30年度幼稚園保護者アンケート

教育活動等アンケート保護者集計結果



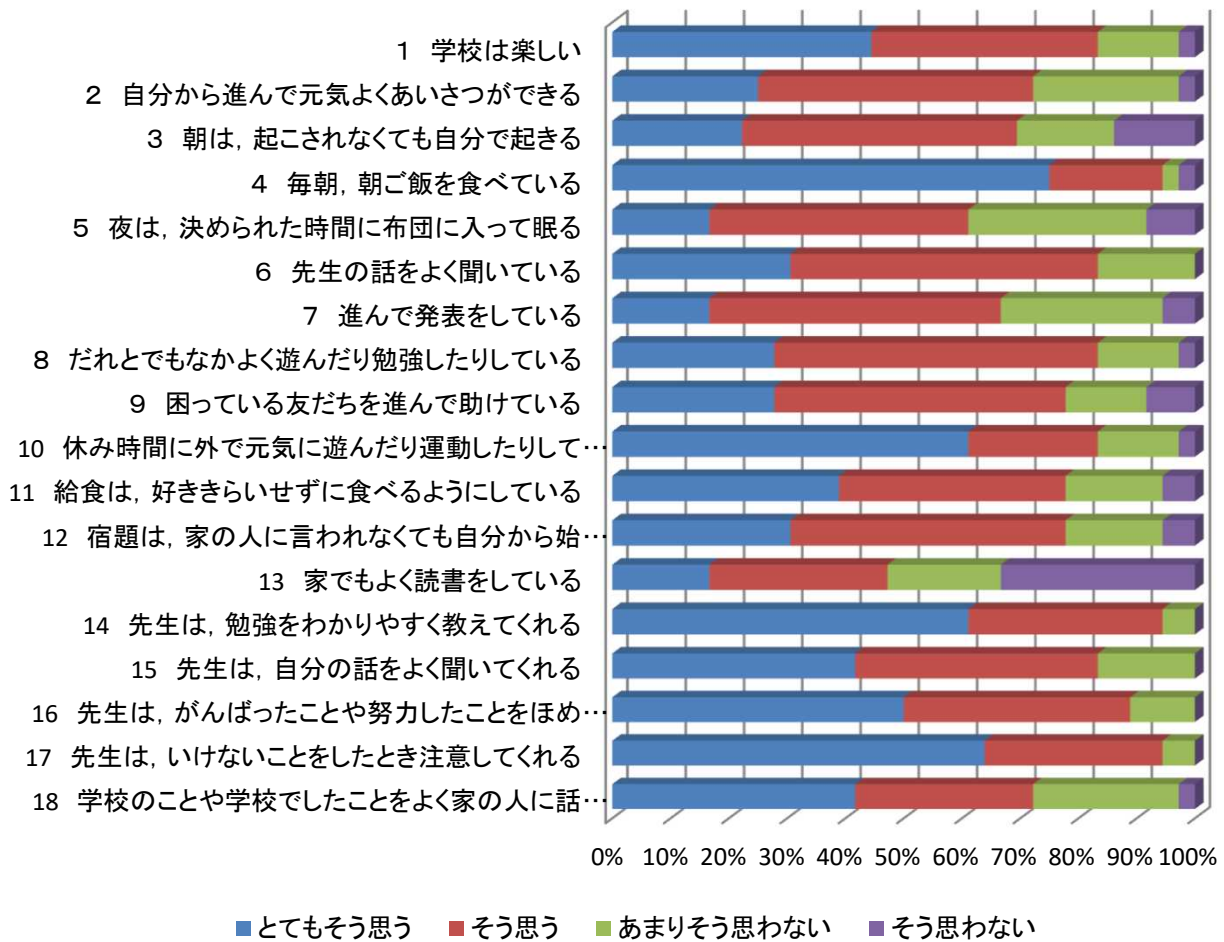
平成30年度小学校保護者アンケート

教育活動等アンケート保護者集計結果



平成30年度 児童アンケート

1年間をふりかえってみよう(児童集計結果)



平成30年度自己評価

教職員学校評価アンケート集計結果

